

平成27年度

単位施策評価表

所属 25150000

産業振興部 観光振興課

施策	6301 魅力ある観光交流・レクリエーション拠点の形成							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	観光客							
施策が目指す姿	観光交流・レクリエーション拠点の整備・充実、多彩なイベント等の開催支援、拠点施設の適切な維持・管理、観光地としての知名度の向上を図る。							
成果指標	観光客の満足度率（再訪問の意思）現状値 86.7% H29年度目標値 90%							
目 標 達 成 状 況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	成果指標1 [%]	予定	86.70	87.50	88.00	89.00	90.00	
		実績	0.00	0.00	75.20			
	成果指標2 []	予定						
		実績						
	成果指標3 []	単位コスト						
		予定						
	成果指標4 []	実績						
		単位コスト						
	トータルコスト (千円)	予定	255,105	279,480	276,312			
実績		261,061	289,144	287,911				
内 部 評 価	貢献度	上位施策の目標指標「観光客入込数」を向上させるためには、観光地としての魅力ある拠点づくりが不可欠であるため、本単位施策の貢献度は高い。						
	達成状況	各事務事業は適正に行われている。またアンケート調査業務を実施した結果、主要施設及びイベント等に関する満足度は、目標値に対し未達（75.2%）であった。						
	課題	観光客の満足度を向上させるため、観光関係者が連携できる場を設け、観光に対する意識向上を図ると共に、資源の有効活用のための取り組みを検討していく必要がある。						
	取組方針	観光関係者を中心とした検討の場を設け、各観光施設の情報の共有化を図り、連携しやすい条件を整えながら、観光地としての魅力向上につながる施策の展開を進める。						
外 部 評 価	観光客に対する意向調査を実施したことは評価できると考えるが、定期的な調査を実施出来るよう努力すべきである。 また成果指標について未達となったが、その要因を分析して新規事業の掘起しや必要な対策を講じるべきである。 市内の状況を見ていると、受け入れる側の「おもてなしの心」の醸成に課題があると感じることがある。事業者や住民の意識高揚を図るための努力を期待したい。 また、本市の観光を振興するうえで、他の施策との連携は重要と思われる。例えば、文化振興と併せた「みつわ通り」の活性化や、農業振興と併せた「六次産業化」の推進など、庁内での連携を図るべきである。そうした取り組みの進捗を把握できる指標も次期計画に反映すること。							
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	310301	山車会館管理運営委託事業費				19,691	100	
	310501	観光資源開発活動補助金（栃木）				14,631	100	
	310502	観光資源開発活動補助金（大平）				3,505	100	
	310504	観光資源開発活動補助金（都賀）				4,900	100	
	310506	観光資源開発活動補助金（岩舟）				2,300	100	
	310901	蔵の街駐車場管理運営委託事業費				4,532	100	
	312605	金崎桜堤管理事業費				1,908	100	
	313406	観光行事補助金（岩舟）				13,750	100	
	315806	はなやかな町づくり事業費（岩舟）				869	100	
701701	マスコットキャラクター活用事業費				28,529	100		

平成27年度

単位 施策評価表 補表

施策	6301 魅力ある観光交流・レクリエーション拠点の形成		
区分	妥当性	妥当	イベント開催の支援、観光施設の管理等を適切に行い、観光地としての魅力を向上させるため必要な事業であり、実施は妥当である。
	コスト削減の余地	有	事業実施後の成果や効果を検証することで、適正なコストの再確認を行う必要がある。
	受益者負担	適正	施設の維持管理に係る費用や各種イベントに係る支援など、受益者負担は適正である。
	上位貢献度	有効	「観光客入込数」向上のための貢献度は有効である。
	類似事業の有無	無	他の類する事業はなく、代替は困難である。
	成果向上の余地	有	観光関係者が参画できる機会を設けることで連携を強化し、魅力ある拠点づくりの展開を進めることで成果向上の余地はある。
内部評価	貢献度	上位施策「観光レクリエーションの振興」の目標指標「観光客入込数」を向上させるためには、観光地としての魅力ある拠点づくりが不可欠であるため、本単位施策の貢献度は高い。	
	達成状況	各事務事業は適正に行われている。また、観光入込客の実態を把握するためアンケート調査業務を実施したところであるが、主要施設及びイベント等に関する満足度は、目標値に対し未達(75.2%)であった。	
	課題	観光客の満足度を向上させるためには、観光に関わる関係者が連携できる場を設けることで、現在の観光施設の状況や観光に対する意識の向上を図るとともに、資源を有効に活かすための取り組みを検討していく必要がある。	
	取組方針	各地域観光協会や関係者を中心とした検討の場を設けることで各観光施設の情報の共有化を図り、連携しやすい条件を整えながら、観光地としての魅力向上につながる施策の展開を進める。	

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	070104	予算事業コード	310601	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	とちぎ秋まつり負担金								主	6301	観光レクリエーションの振興		魅力ある観光交流・レクリエーション拠点の形成		
担当部課 係・担当チーム名	産業振興部 観光振興課 観光イベント係					担当者	茂呂 一則			従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等				事業期間	H22 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	73,000		千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうい方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) とちぎ秋まつりを栃木商工会議所、栃木市観光協会、栃木市商店会連合会、とちぎの山車祭り伝承会と共催する。						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・とちぎ秋まつりを開催し、多くの観光客を誘致する。 ・とちぎ秋まつりを積極的にPRすることにより、市全体の観光振興を図る。							
	単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込		成果目標	観光客の満足度率(再訪問の意思)現状値 86.7% H29年度目標値 90%									
事業費・指標の推移	国庫支出金		0		事業の内容 その成果	平成26年度					平成27年度				
	県支出金	3,000	0			【事業の内容】 とちぎ秋まつりの開催 ・主催者負担金の支出 ・9台の山車と1対の獅子頭、計10町内の参加 ・11月14日(金)~16日(日)の開催	【事業の内容】 隔年開催のため未実施								
	地方債	0	0			【成果】 ・入込数379,000人(3日間) ・同時開催の物産展に参加テナント33店 ・協賛金2,220,000円(企業18社 個人86名)									
	その他特財	0	0												
	一般財源	16,000	0												
	事業費 a	19,000	0												
	人件費 b	7,500	0												
減価償却費 c	0	0													
総事業費 a+b+c	26,500	0		指標名	算出方法		単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地	
結果指標 1	379,000.00	0.00		観光客入込数	とちぎ秋まつり観光客入込数 平成27年度目標値：0人		人		妥当	有	余地有	有効	無	有	
結果指標 2	3.00	0.00		開催日数	開催日数		日								
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・まつりの総経費の削減を図るとともに、独自財源の確保を更に充実させる。 ・市民全体のまつりとして、市民全体で支える仕組み、広く市民が参加できる仕組みを構築する。														
事後評価備考															